

■現代中国学部 現代中国学科

教育研究上の目的
学則第1条 (目的) 本大学は、教育基本法及び学校教育法並びに本学の設立趣意書に基づき、高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材を養成することを目的とする。
学則第2条の2 (学部及び学科) 現代中国について総合的に教育・研究する学部として、国際的な視野と識見を備えたグローバル人材を養成する。この目的を実現するために、ビジネス・言語文化・国際関係の3コースを設け、中国語教育を基礎に、専門的かつ広範な学修を積み、また現地プログラム、現地研究調査、現地インターンシップ等を通じた実践的・能動的教育を行う。
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)
現代中国学部は、現代中国について総合的に教育・研究する日本唯一の学部として、国際的な視野と識見を備え、中国・アジアを中心にグローバルに活躍できる人材を養成することをめざします。この目的に従い、学生に対し卒業研究を含む各科目の履修を通じて、以下のような能力、知識および資質を身につけることを学生に求めます。 (1) 高度な中国語運用能力とコミュニケーション能力を身につける。 (2) 現代中国に関する専門的な知識を身につける。 (3) 現代中国について上記(1)(2)にもとづいて総合的に分析することができる。 (4) 多様な価値観を持つ人びとと積極的に交流し、主体的な行動力と協働できる力を身につける。 本学部では、大学および本学部が定める成績評価基準に従い厳格な成績評価を行い、卒業要件をすべて満たしたもののについて、上記の能力、知識および資質を備えたものとして学位を授与します。
教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)
現代中国学部ではディプロマ・ポリシーに掲げた人材を養成するため、現地・現場における教育活動を重視する「現地主義教育」をカリキュラムの柱としています。また、学ぶ側の関心やレベルに合わせて選択できる多彩なプログラムを用意することで、現代中国について様々なアプローチから体系的に学修できます。具体的には、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 高度な中国語能力とコミュニケーション能力の養成 1・2年次は中国語を必修として重点的に学修します。1年次に基礎を学び、2年次春学期には現地生活を通じて実践的な運用能力を身につけるため、中国人留学生を除く全員が中国・台湾・マレーシアの大学で「現地プログラム」(4ヶ月間の研修)を行います。さらに、より高度な応用力を養う中国語強化コース、さらに中国・台湾の大学との間でダブルディグリー・プログラム(2重学位制度)を設置しています。その他「Business English」を設け、英語教育にも力を入れています。 (2) 「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースの設置 1年次には、主に共通教育科目を履修し大学教育における基礎的教養を身につけるとともに、配当される専門教育科目を通じて、現代中国研究に不可欠な識見を養います。2年次秋学期からは、各自の関心に応じて、「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースに分かれて、現代中国に関するより高度な専門的知識を学修します。専門教育科目は他のコースの科目も履修可能であり、深い考察力、分析力を修得できます。さらに、「さくら21」科目の履修によって、深い日本理解とその発信力を養成します。 (3) 全学年に設けた演習科目および現地主義教育を通じたアクティブ・ラーニングの展開 1年次春学期に、大学教育への適応を促す「入門演習」、2年次秋学期には論理的分析へとつなげる「基礎演習」、そして3・4年次には専門的議論を可能とする「専門演習」を設けています。これら演習科目を切れ目なく設定することで、学生が(1)(2)と連動した学修を行い、協働できる能力を培う場を提供します。また「現地研究調査」「現地インターンシップ」を中心に実習、卒業研究など多様な科目にもアクティブ・ラーニングを導入し、学生が能動的に考察、議論し主体的に発信する能力を育成します。 (4) 正課科目と課外活動における多様な交流の機会の提供 「現地プログラム」「現地研究調査」「現地インターンシップ」などの現地主義教育の科目や、「相互交流入門」「相互交流応用」などの「さくら21」科目だけでなく、これらの科目と密接に関連する課外活動においても国際交流の機会を設けることにより、学生の主体的な行動力や協働できる能力を養成します。
入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)
現代中国学部は、現代中国について総合的に教育・研究する日本唯一の学部として、国際的な視野と識見を備え、中国・アジアを中心にグローバルに活躍できる人材を養成することをめざします。具体的には、相手の背景を理解しつつ自分のことを説明するための基礎的な知識とコミュニケーション能力を備え、主体的に他者と関わり、自ら判断し、お互いの違いを乗り越えて協働できるような人材で、その養成のために現地主義教育を中心とした多彩な教育プログラムを用意しています。 現代中国学部はこのような教育目標にふさわしい者として、高校で学ぶ基礎的な学力を有することに加えて次のような学生を求めて、選抜します。 (1) 中国に対して強い関心と勉学意欲を持っている人。

愛知大学 3つのポリシー（2021～2023 年度）

- （2）現地主義教育を通じて自ら成長したい人。
- （3）アジアを中心とした国際社会で活躍したい人。
- （4）グローバルな視野で社会貢献したい人。
- （5）異文化体験を通して、自らが所属する文化・社会を理解したい人。

また、各選抜方式では、次のような方針で選抜します。

〔一般選抜〕 基礎学力をバランス良く備えた人を選抜します。

〔学校推薦型選抜〕 一定水準以上の基礎学力を備え、学力以外の優れた能力や豊かな経験に基づく中国やアジアへ強い興味や関心、勉学意欲を持つ人を選抜します。

〔総合型選抜〕 基礎学力に加えて資格や活動実績を有し、中国・アジアのみならずグローバルな舞台で活躍できる人材を目指し、高い勉学意欲を持つ人を選抜します。